

取扱説明書

SHELF SUPPORT

棚受け

DR□-602

部品一覧

棚受け × 4



皿タッピングねじ × 20

(Φ3.5×16)

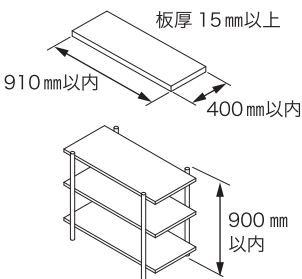


+ドライバーをご用意ください。

⚠️ 取り付け上の注意事項

●本製品は市販の木製丸棒 φ30 mmのみ対応しています。●棚板は、板厚 15 mm 以上の木製の板材で、下記の範囲内のサイズのものを使用してください。●タッピングねじの効かない木材にはご使用いただけません。●反りや曲がりの少ない木材を使用してください。

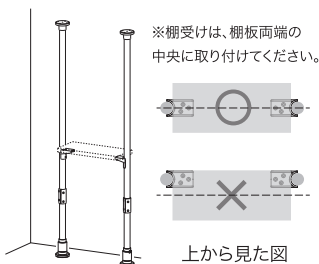
置き型の棚をつくる場合



注：棚板は 2 段または、3 段取り付けることが出来ます。完成品の高さは 900 mm 以内としてください。※床に置いたときにガタつく場合、別売りの「FLAT ASSIST CAP (高さ調整キャップ)」を取り付けることで、調整出来ます。

注：棚の奥行きが短い場合や、脚(丸棒)の取付幅が短い時など転倒しやすくなりますので、使用状況に合わせて調整してください。

丸棒を2本突っ張って棚をつくる場合



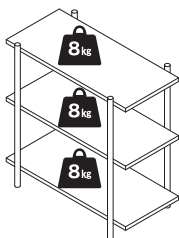
⚠️ 使用上の注意事項

●この商品は屋内用です。●直射日光の当たる所、高温となる所、浴室のような湿度の高い所では使用しないでください。●万一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのある物を載せないでください。●よじ登ったり、ぶら下がったりしないでください。●消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナー等)の付着は変質劣化の原因になります。直ちに取除いてください。●製品には塗装をしないでください。●破損やひび割れなどの異常が発生した場合は、直ちに使用をおやめください。●天災などの不可抗力、経年劣化、改造、誤った使用方法による故障、破損、事故などに対する補償等はいたしかねます。●日本の国外に持ち出された商品は、補償の対象外となります。

使用荷重

置き型の棚をつくる場合

1 段につき 8 kg まで



丸棒を2本突っ張って棚をつくる場合

1 段につき 2 kg まで

※全体での使用荷重は、「ADJUSTER (突ばりキャップ)」を参照してください。

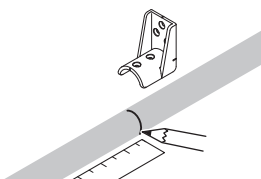


●使用荷重は棚板の重さも含まれます。垂直方向以外に荷重を加えないでください。事故や破損の原因となります。●使用荷重は実験値です。設置場所や、使用木材によって条件が変わる為、保証するものではありません。

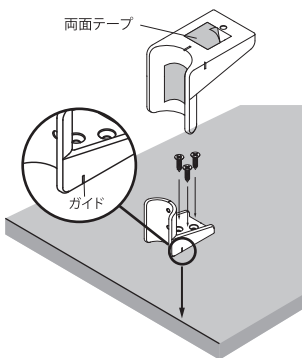
取り付け方法

置き型の棚をつくる場合

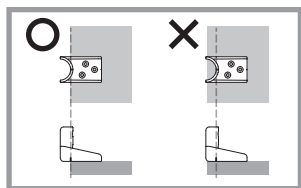
- 01 取り付けたい高さを測り、えんぴつ等で印をつけます。



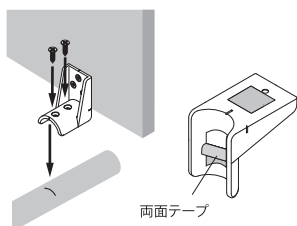
- 02 平面にある両面テープの剥離フィルムをはがします。棚受け側面の左右のガイドを棚板の端に合わせ仮止めします。位置がずれないように注意しながら、付属のねじで3箇所固定します。



注: 電動ドライバーを使用する場合は、ねじを空回りさせないように締め過ぎに注意してください。



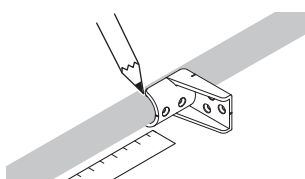
- 03 曲面にある両面テープの剥離フィルムをはがします。印に合わせて棚受けを仮固定し、付属のねじで2箇所固定します。



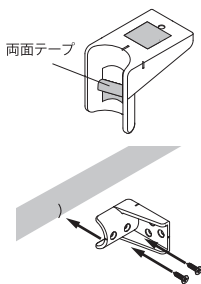
※品質向上のため予告なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良などがございましたらお手数ですが右記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。※印刷の都合上、色調は実物と異なる場合もございます。

丸棒を2本突っ張って棚をつくる場合

- 01 取り付けたい高さを測り、えんぴつ等で印をつけます。

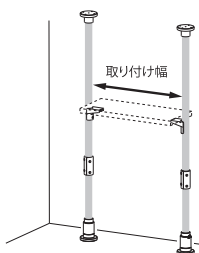


- 02 曲面にある両面テープの剥離フィルムをはがします。支柱を寝かせたまま、印に合わせて棚受けを仮固定し、付属のねじで2箇所固定します。



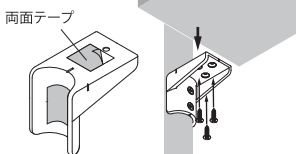
注: 電動ドライバーを使用する場合は、ねじを空回りさせないように締め過ぎに注意してください。

- 03 棚板の取り付け幅に合わせ、支柱を突っ張ります。



- 04 平面にある両面テープの剥離フィルムをはがし、棚板を仮止めします。位置がずれないように注意しながら、付属のねじで3箇所固定します。

※棚受けは、棚板両端の中央に取り付けてください。



平安伸銅工業株式会社
TEL 06-6228-8986
9:30-17:00 (土・日・祝日は除く)
www.heianshindo.co.jp